

山形県立保健医療大学 理学療法学科 カリキュラムマップ

カリキュラムポリシー	<p>1. 人間、生命・健康、社会・環境、文化・コミュニケーションへの理解を深めるため、総合基礎教育科目を設ける。【DP1、4、5、6】</p> <p>2. 専門科目の基盤として人体の構造、機能、病態を理解する科目と、障がいや社会福祉を理解し、多職種間で協働する能力を養う科目を、専門基礎科目に設ける。【DP2、3】</p> <p>3. 理学療法の臨床および研究活動に必要な知識、技術、問題解決能力を修得するため専門科目を設ける。【DP2、4、5、6】</p> <p>4. 高度で専門的な内容に段階的に進めるよう、総合基礎教育科目・専門基礎科目・専門科目の履修順序を定型的に編成する。【DP1～6】</p> <p>5. 学生の主体的な学習を促すために、講義、実技、演習、ゼミナール等の組み合わせを工夫し、科目に適した授業を編成する。【DP2、5、6】</p> <p>6. 国際的な視野から理学療法を捉える能力を身に付けるため、英語文献や英文記述を多用する。【DP4】</p>
------------	---

ディプロマポリシー (DP)	5. 知識と技術の向上のために、自ら学び、鍛錬する意欲と能力を有している。							
	1. 人の尊厳と多様な価値観を理解し、高い倫理観をもって健康を支援していく能力を有している	2. 理学療法士として必要な専門的知識と技術を修得し、人の身体機能上の問題に対して、根拠に基づく論理的思考をもって解決する能力を有している。	6. 医学の進歩と社会システムの複雑化を見据え、自己の専門性を発揮して地域社会に貢献する意欲と能力を有している。	3. 人を支援する専門職の一員として自己の責任を自覚し、多職種間の信頼関係を構築し、協働する能力を有している。	4. 国際的な広い視野から問題を捉え、解決する意欲と能力を有している。			
4年	臨床実習Ⅳ（総合臨床実習）							
	臨床実習Ⅱ（評価実習） → 臨床実習Ⅲ（総合臨床実習）							
3年	生体計測学演習	理学療法技術学	神経系理学療法学特別講義	生活支援系理学療法学Ⅱ	理学療法研究法演習			
	臨床特論							
	理学療法評価学Ⅱ	物理療法学	筋骨格系理学療法学Ⅱ	義肢装具学	神経系理学療法学Ⅱ	地域リハビリテーション学	チーム医療論	理学療法研究法
2年	救急医療学	理学療法検査技術学演習	筋骨格系理学療法学Ⅰ	神経系理学療法学Ⅰ	高齢期理学療法学	国際保健論		
	臨床心理学	運動学演習	運動療法学	内科系理学療法学Ⅰ	小児理学療法学Ⅰ	実践英語		
	文章表現法	理学療法評価学Ⅰ	成人老年疾病論Ⅱ	神経障がい論	生活支援系理学療法学Ⅰ	医療英会話		
	教育学	理学療法検査技術学Ⅱ	成人老年疾病論Ⅰ	精神障がい論	発達障がい論	文化人類学		
		運動学Ⅱ	薬理・臨床薬理学	免疫と微生物	高次脳機能障がい論	社会福祉論		
1年	臨床実習Ⅰ（見学実習）							
	スポーツ学	理学療法検査技術学Ⅰ	運動器障がい論	生体機能学演習	政治学	英語表現法Ⅱ		
	哲学	運動学Ⅰ	生体形態学実習	生体機能学Ⅱ	社会学	英語Ⅱ		
	情報科学・情報リテラシー	病理学	人間発達学	自然科学演習	統計学	人間関係・コミュニケーション論		
	生命倫理学				保健医療論	英語表現法Ⅰ		
	心理学	理学療法学概論	生体形態学	生体機能学Ⅰ	数学	リハビリテーション概論	英語Ⅰ	
				自然科学	経済学	国際関係論		

黄色：専門科目 緑色：専門基礎科目 青色：総合基礎教育科目 太字：必修科目 細字：選択科目 赤枠：臨地・臨床実習